

# ハイライトよねやま 66

(財)ロータリー米山記念奨学会

2005年8月12日発行

## 1. 寄付金速報 ～ 2005-06年度は順調なスタート

2005-06年度が始まって1カ月が経ちました。7月の寄付金は約2億2千万円で、前年度に比べて5.3%増、約1千百万円の増加となりました。普通寄付金が1.2%増、特別寄付金が21.3%増と良好な滑り出しです。今年度は14億5千万円（昨年度は15億1千万円）の予算目標を立てています。近年の寄付低迷によって2005学年度から縮減された採用数800名を維持するためにも、少しでも支援の輪を広げ、引き続き米山奨学会にご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

## 2. 寄付を集めるコツは？ ～前年度上位5地区へ聞き取り調査

2004年度の一人あたり平均寄付額が上位であった地区米山委員長に、寄付増進の工夫と秘訣を伺いました。

### 奨学生の「生の声」をロータリー・クラブの会員に届ける

最も優先していることは、奨学生の声をクラブ会員に聞いてもらうことです。奨学生を卓話に招くなど、会員の方々の心に届くような、奨学生とのコミュニケーションの場を設けることが重要です。「寄付は強要するものではなく、事業への理解こそが寄付につながる」との信念で、啓蒙に努めています。

### ガバナーが目標金額を掲げる

一人あたりいくら寄付していただくのかをガバナーが明確に掲げることが、寄付を集めるうえで効果的です。特に、ガバナー公式訪問の際に目標額を示していただくと、より寄付が集まるそうです。

2005-2006年度はスタートしたばかりですが、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。また、調査にご協力いただいた委員長の方々に心より御礼申し上げます。

## 3. 2006 学年度の指定校が決定 ～新制度を導入する地区も

各地区の選考委員会によって決定された2006学年度の指定校は401校。昨年度の371校から30校増え、2006年度制度改編による新制度を早くも導入した地区もありました。

新しくなった制度の一つに、「学部課程ロータリー米山奨学金（YU）」の対象を高等専門学校専攻科へ拡大する、というのがあります。これを取り入れた地区は2地区（2640・2650）でした。また、短大・高専・専修学校といった、大学や大学院以外の学生を採用できる新制度「地区奨励ロータリー米山奨学金」は、3地区（2550・2650・2680）が導入。さらに、他地区の学校を指定校とした地区も2地区ありました。

大学に対して提示する独自の推薦基準を設けた地区は、過去最多の21地区にのぼり、今まで以上に各地区の支援方針が明確になったといえます。

8月18日には当会ホームページで、2006年度の指定校と“募集要項・申込書”を公開予定です。なお“募集要項・申込書”は、8月12日付で各指定校、当会役員・委員宛にも送付します。

#### 4. カウンセラーからの便り ～奨学生が「米山功労者」に！【2660 地区】

米山カウンセラーから嬉しいニュースが寄せられました。海外学友会が推薦する特別米山奨学金、S Y - A 奨学生の林 翰 佳さん【台湾／大阪大学／大阪南 RC】が、1 年間の奨学期間を終えて帰国する今年の 6 月、支給された当月の奨学金から 10 万円の寄付を申し出てくれました。

##### 「米山功労者」林翰佳さん

米山カウンセラー 中田康仁(大阪南 RC)

わがクラブでお世話した米山特別奨学生の林さんが、去る 6 月 21 日、母国台湾へ帰った。

6 月の第 2 例会で、いつものように奨学金を手渡したその日、梅田まで送って行く車中、彼がいつになく真剣な顔をして「ボクの願いを聞いてくれないませんか？」と言った。聞いてみると、「月半ばに帰国するので、まる 1 ヶ月分の奨学金は多すぎる。世話になった米山奨学会に寄付したい。」と言うのだった。

私は以前、林さんにこんな話をしたことがあった。奨学生の中には生活費を極限まで切りつめて、余った奨学金の一部を故郷へ送金している学生もいる。そのため、なかには健康を損なって、カウンセラーに心配をかける場合がある、と。

林さんはその話を覚えていて、少しでもそのような貧しい学生の助けになりたい、というのだ。しかし彼が申し出た金額は、決して少ない金額ではない。私は、「奥さんに土産を買ってあげなさい、帰国の費用もかかるし、どうしてもと言うなら、1 万円ぐらいをクラブのニコニコ箱へ寄付したらどうか。それにいま決めねばならないこともない、よく考えなさい」などと、翻意を促すようなことを言ったが、林さんは、使い道は中田さんに任せるからと言って、10 万円の入った封筒を私に押し付けるようにして車を降りてしまった。

私はどうしたものかと考えあぐねたが、結局、林さんの善意を無駄にはしないと、クラブを通じて米山記念奨学会へ送金し、林さんを「米山功労者」に認定する手続きを申請したのだった。

梅雨の晴れ間の一陣の涼風のように、すがすがしい気分だった。



中田カウンセラー(左)と林さん(右)

#### 5. 米山月間用資料のご案内 ～今年も『豆辞典』を発行します



10 月の米山月間にお使いいただく資料として、昨年好評を博したポケットサイズの『米山奨学事業・豆辞典』。今年は、米山奨学事業に関する基本情報のほか、2006 年度制度改編によって“よねやま”がどのように新しかったのかをコンパクトにまとめました。今年度版『豆辞典』も全会員の手に届くよう、人数分をクラブへお送りします。

米山月間用の資料は、米山役員・委員、ガバナー事務所、全クラブへ 9 月中旬に送付予定です。

以上



米山奨学会事務局は、9 月 12 日より新しい事務所へ移転します。

【新住所】〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

電話番号・FAX番号・メールアドレス・ホームページアドレスは変わりません。

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当: 野津・大庭  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8 階  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/